

地域福祉に関する区民アンケート（案）

ご協力をお願い

日ごろから区政へのご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

江東区では現在、「江東区地域福祉計画（計画期間：令和４年度～令和７年度）」に基づき、『一人ひとりの尊厳が守られ、地域でともに支えあい、誰もが笑顔で安全に暮らせるまち』の実現に向けて、区民の皆様や地域活動団体、関係団体等と連携して取り組んでいます。近年の社会経済状況や法律の制定・改正を踏まえて、令和７年度に計画を改定します。

本調査は、計画改定にあたり、皆様の暮らしの状況や地域活動に対する意見等をお伺いするもので、18歳以上の区民の方から無作為に3,000人の方を選び、調査票を送付しています。

調査は無記名で行い、皆様からの回答は統計的に処理しますので、個人が特定されることはなく、また、調査の目的以外に使用することはありません。秘密の保持には万全を期して対応しますので、ご迷惑をお掛けすることはありません。

お忙しいところ大変恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますよう、お願い申し上げます。

令和６年９月

江東区長 大久保朋果

〔回答にあたってのお願い〕

- 回答は、あて名のご本人がお答えください。
※ご本人が回答できない場合、ご家族等がご本人のお考えを聞きながら回答してください。
- 調査への回答方法は、紙の調査票か、インターネットか、どちらかを選んで回答してください。（両方に回答しないよう、お願いします。）

回答（投函）期限 令和6年10月18日（金曜日） 回答の所要時間（目安）20分

紙の調査票の回答方法

- ・ 選択肢の設問については、該当する番号に○をつけてください。
- ・ 自由回答の設問には、あなたの考えを簡潔に記入してください。
- ・ 質問によって回答される方が限られる場合がありますので、ご注意ください。

インターネットの回答方法

- ・ 下の二次元コードか、URLから回答用のページにアクセスしてください。
(URL) https://questant.jp/q/koutou_chiiki_kumin
- ・ 設問は33問です。途中保存はできませんので、お時間のあるときにお答えください。



なお、本調査の実施・とりまとめは、
株式会社ジャパンインターナショナル総合研究所に委託しています。

【本調査についてのお問合せ先】株式会社ジャパンインターナショナル総合研究所

電 話：●●●●●●●●フリーダイヤル番号を記載

メー ル：●●●●●●●●問い合わせ用メールアドレスを記載

～ 回答の前にお読みください ～

◇江東区地域福祉計画の基本理念

(地域福祉に関する基本的な考えであり、江東区で実現すべき地域福祉の将来像)



一人ひとりの尊厳が守られ、地域でともに支えあい、
誰もが笑顔で安全に暮らせるまち

一人ひとりの尊厳が守られ	● 多様な価値観をお互いに認めあい、一人ひとりの権利が大切にされる地域社会
地域でともに支えあい	● 制度や分野の垣根を取り払い、「支え手」「受け手」という関係を超えて、どんな時も寄り添い、助けあう活動が広がる地域社会
誰もが笑顔で安全に暮らせるまち	● 区民、地域、団体、企業等のつながりの下で誰もが安全に安心して自分らしく生き、すべての老若男女に自然と笑顔があふれる地域社会

区ホームページでは、江東区地域福祉計画の全文がご覧いただけます。

<https://www.city.koto.lg.jp/210157/fukushi/20200916.html>



区ホームページ

地域福祉ってなに？

区民、地域活動団体、関係団体等がつながりあい、誰もが安心して暮らしていける地域をみんなでつくる活動が地域福祉です。

地域福祉計画は高齢者、障害者、こども・子育て等の枠を超えた福祉分野全体の指針になります。



地域のことを一番よく知っている皆さんの参加が必要です。

ご自身やご家族のために、現在と将来の江東区のために、皆さまの意見を、ぜひ、お聴かせください！



1 あなたのこと（あて名の方）について

問1 あなたの性別（あなたの現在の性自認でお答えください）（○は1つ）

- 1 男性
- 2 女性
- 3 その他（どちらともいえない・わからない・答えたくない）

問2 あなたの年齢（令和6年●月●日時点）（○は1つ）

- | | | |
|-----------|------------|------------|
| 1 18～19 歳 | 6 40～44 歳 | 11 65～69 歳 |
| 2 20～24 歳 | 7 45～49 歳 | 12 70～74 歳 |
| 3 25～29 歳 | 8 50～54 歳 | 13 75～79 歳 |
| 4 30～34 歳 | 9 55～59 歳 | 14 80 歳以上 |
| 5 35～39 歳 | 10 60～64 歳 | |

問3 お住まいの地区（地区番号を○で囲んでください）（○は1つ）

- 1 白河地区：清澄、常盤、新大橋、森下、平野、三好、白河、高橋
- 2 富岡地区：佐賀、永代、福住、深川、冬木、門前仲町、富岡、牡丹、古石場、越中島
- 3 豊洲地区：塩浜、枝川、豊洲、東雲、有明、辰巳、潮見、青海
- 4 小松橋地区：千石、石島、千田、海辺、扇橋、猿江、住吉、毛利
- 5 東陽地区：木場、東陽、南砂二丁目1番1号～5号、5～7番
- 6 亀戸地区：亀戸全区域
- 7 大島地区：大島全区域
- 8 砂町地区：北砂全区域、東砂一～五丁目、南砂一丁目、南砂二丁目24番～34番、南砂五丁目
- 9 南砂地区：東砂六～八丁目、南砂二丁目（1番1号～5号、5番～7番、24番～34番を除く）、南砂三・四・六・七丁目、新砂一丁目（1番を除く）、新砂二・三丁目、新木場

問4 現在のお住まいの居住歴（○は1つ）

- 1 2年以下
- 2 3～5年
- 3 6～9年
- 4 10～19年
- 5 20～29年
- 6 30年以上

問5 お住まいの形態（○は1つ）

- 1 持ち家（一戸建）
- 2 持ち家（マンションなどの共同住宅）
- 3 民営の賃貸住宅
- 4 都・区営の賃貸住宅・都市再生機構（UR）・公社
- 5 給与住宅（社宅・公務員住宅など）・寮・寄宿舍
- 6 その他・わからない

問6 あなたの世帯構成（○は1つ）

- 1 1人世帯
- 2 夫婦だけの1世代世帯
- 3 親と子の2世代世帯
- 4 親と子と孫の3世代世帯
- 5 その他の世帯

問7 あなたの働き方（○は1つ）

（※複数の仕事に従事している場合は、一番長い時間している仕事を選んでください）

- 1 正規の職員・従業員
- 2 非正規の職員・従業員（派遣社員、契約社員・嘱託、パート・アルバイト（学生アルバイトを除く））
- 3 会社などの役員
- 4 自営業主
- 5 家族従業者・内職
- 6 学生・生徒
- 7 収入をとまなう仕事をしていない（仕事を探している）
- 8 収入をとまなう仕事をしていない（仕事を探していない）
- 9 その他

2 近所付きあい、地域のつながりについて

問8 ご近所の方とは、主にどのような付きあい方をしていますか（多いですか）。（○は1つ）

- 1 家族ぐるみの付きあいが多い
- 2 おみやげをあげたり（もらったり）、何かを手伝いあうことが多い
- 3 あいさつをする程度の付きあいが多い
- 4 顔は知っているが、あいさつをしないことが多い
- 5 顔も知らない人が多い
- 6 その他（具体的に）

問9 暮らしていく上で、近所や地域との関わりは必要だと思いますか。(○は1つ)

- 1 必要だと思う
- 2 ある程度は必要だと思う



問10へ

- 3 あまり必要ないと思う
- 4 必要ないと思う



問11へ

**問10 問9で「1」または「2」(必要だと思う)と回答した方におたずねします。
どのようなことに近所や地域との関わりの必要を感じますか。(○はいくつでも)**

- 1 災害時の地域での助けあい
- 2 空き巣や不審者等の防犯
- 3 ひきこもり等の社会との関わりが希薄な人への支援
- 4 虐待の防止
- 5 高齢者や障害者への支援
- 6 こどもの健やかな成長
- 7 近所で困っている人・孤立している人への手助け
- 8 地域のおまつりやイベント等多世代交流の機会
- 9 町会・自治会活動への参加
- 10 その他(具体的に)
- 11 わからない

**問11 問9で「3」または「4」(必要ないと思う)と回答した方におたずねします。
近所や地域との関わりの必要を感じない理由は何ですか。(○はいくつでも)**

- 1 どのように関わればよいかわからないから
- 2 この地域にずっと住むつもりはないから
- 3 仕事や友人との付き合いがあれば十分だから
- 4 地域情報はインターネットやSNSで得られれば十分だから
- 5 困った時は、関連する相談機関(区役所等)に相談すれば十分だから
- 6 困った時は、マンションの管理センター等に相談すれば十分だから
- 7 プライバシーを知られたくない、詮索されたくないから
- 8 地域での付き合いがわずらわしいから
- 9 過去に地域でのトラブルがあったから
- 10 その他(具体的に)
- 11 特に理由はない

問 12 近所に困っている人がいる場合、あなたはどのような気持ちになりますか。最も近い気持ちをお答えください。(○は1つ)

- 1 自分ができる範囲で助けたい
- 2 周りの人や区と一緒に助けたい
- 3 助けたいが、仕事や家族の面倒で時間がとれない
- 4 助けたいが、心身の状況でできない
- 5 助けたいが、助ける方法がわからない
- 6 助けたいとは思わない
- 7 わからない

問 13 助けあいであなたができることやしたいことはありますか。(○はいくつでも)

- 1 話し相手、声かけ
- 2 ちょっとした手伝い(例 ごみ出し、買い物、植木の手入れ、家・玄関周りの掃除)
- 3 短時間、家族の面倒をみる(こども、高齢者等)
- 4 火事や災害時の助けあい
- 5 登下校時の見守り、地域のパトロール
- 6 自分の時間、経験、知識、体力を生かせること
(具体的に)
- 7 特にない

問 14 お住まいの地域に愛着を感じていますか。(○は1つ)

- 1 とても感じる
- 2 少し感じる
- 3 あまり感じない
- 4 まったく感じない
- 5 どちらともいえない

問 15 お住まいの地域にお互いに助けあうような「地域のつながり」を感じますか。(○は1つ)

- 1 とても感じる
- 2 少し感じる
- 3 あまり感じない
- 4 まったく感じない
- 5 どちらともいえない

問 16 これからの住民同士の「つながり」について、どのようなことが重要だと思いますか。
(○はいくつでも)

- 1 町会・自治会への所属
- 2 隣近所や地域の付き合い
- 3 趣味やスポーツ等のサークル活動
- 4 共通の課題を抱える方同士のSNS（FacebookやX（旧ツイッター）等）上の交流
- 5 NPO等の特定分野での支援団体とのつながり
- 6 その他（具体的に _____）
- 7 つながる必要はない

問 17 住民同士の助けあいを地域で広げるために、区が力を入れて取り組むべきことは何だと思いますか。（○は3つまで）

- 1 福祉活動の重要性の発信や地域共生に関する社会の理解促進
- 2 住民同士、住民と行政が地域福祉について話しあう機会の確保
- 3 誰でも気軽に集える、住民やNPO等が中心となる「地域の居場所」づくり
- 4 地域福祉やボランティアについての研修・講座の開催
- 5 わかりやすい福祉情報・地域活動情報の提供
- 6 地域福祉活動団体の運営ノウハウ（資金調達等）の提供
- 7 地域福祉活動の相談や指導をするコーディネーターの派遣
- 8 地域福祉活動やボランティア等の拠点・窓口の整備
- 9 地域福祉活動に伴う費用助成の充実
- 10 町会・自治会の加入促進
- 11 有志（周りの人、近所同士）で助けあう仕組みづくり
- 12 その他（具体的に _____）
- 13 わからない



3 地域活動について

問 18 あなたは、日頃、地域の一員として、何か地域のために役立ちたいと思っていますか。それとも、あまりそのようなことは考えていませんか。(○は1つ)

- 1 思っている
- 2 あまり考えていない

問 19 あなたが地域に参加するとしたら、どういう活動に参加したいですか。(現在の活動や地域の状況に関係なく、お答えください)(○はいくつでも)

- 1 自治会、町内会、マンション管理組合、自主防災組織、消防団などが行う地域活動
- 2 保護者会、PTAなどが行う、学校などを拠点とする活動
- 3 社会福祉法人、福祉サービス事業者などが行うイベント・講習会・ボランティア
- 4 趣味のグループ、自主サークルなどが行う地域活動(自分が関心のある分野)
- 5 区、商店街、NPOなどが行うイベント・講習会・ボランティア
- 6 自分たちが主体となって行う地域活動(交流づくり、居場所づくりなど)
- 7 その他(具体的に)
- 8 そうした活動に参加したくない・関心がない

問 20 あなたは、どのような条件が整うと地域活動に参加しやすいですか。(現在の活動や地域の状況に関係なく、お答えください)(○はいくつでも)

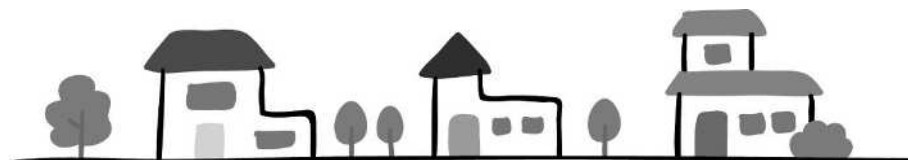
- 1 自分の時間に余裕があること
- 2 時間や期間にあまりしばられないこと
- 3 関心・興味のあるテーマの活動があること
- 4 知り合いや気の合う仲間がいること
- 5 身近な場所で活動できること
- 6 家族の理解・協力が得られること
- 7 子どもの世話や親の介護を代わってもらうこと
- 8 自分の能力向上につながる事
- 9 参加に報酬があること
- 10 その他(具体的に)
- 11 そうした活動に参加したくない・関心がない

問 21 下記の地域福祉に関する活動や組織について、聞いたことがあるものをお答えください。
(○はいくつでも)

1 民生委員・児童委員	住民の相談に応じ、行政などにつなげる役割を担う、無報酬の市民ボランティア。(身分は厚生労働大臣から委嘱された非常勤の地方公務員)
2 社会福祉協議会	地域福祉の推進を図ることを目的とする社会福祉法人。
3 地域福祉コーディネーター	地域活動を支援しながら、地域へのアプローチの入口として連携し、地域課題や困っている方の発見・支援に結びつける、社会福祉協議会の職員。
4 ボランティア・地域活動貢献センター	地域貢献活動団体、区民、行政、企業間の仲介役として、中立的な立場で各々の活動を支え、その活動の活性化を図る組織。
5 子育てひろば	子ども家庭支援センターや保育園などで、子育ての悩みの相談や親子で自由に遊ぶことができる場。
6 ふれあい・いきいきサロン	高齢者や障害者、子育て中の親子などを囲んで、地域の皆さんが自主的に集まり交流できる場。
7 認知症カフェ	認知症の方とその家族、地域住民の誰もが気軽に参加し集える活動拠点。
8 こども食堂	こどもがひとりでも安心して行ける、無料または低額の食堂。

問 22 あなたが自宅以外で過ごしたい身近な場所はどこですか。(○はいくつでも)

- 1 公園・広場、河川敷
- 2 カフェ（喫茶店）、レストラン、飲食店
- 3 商業施設（スーパーやコンビニなど）
- 4 自治会、マンションなどの集会スペース
- 5 図書館、地区センターなどの公共施設
- 6 趣味の活動や運動・スポーツができる場所
- 7 その他（具体的に _____)
- 8 特にない



4 ふだんの暮らしについて

問 23 あなたは、日頃の生活の中で孤独であると感じることがありますか。(○は1つ)

- 1 決してない
- 2 ほとんどない(月1回未満)
- 3 たまにある(月1回程度)
- 4 時々ある(月2～3回程度)
- 5 しばしばある・常にある(週1回以上)

問 24 あなたがこれまでに経験した出来事をお答えください。(○はいくつでも)

- 1 一人暮らし
- 2 転居
- 3 転校・転職・離職・退職(失業を除く)
- 4 失業・休職・退学・休学(中退・不登校を含む)
- 5 妊娠・出産・子育て
- 6 介護・介助
- 7 こどもの独り立ち
- 8 家族の病気・障害
- 9 家族との離別
- 10 家族との死別
- 11 家族以外の親しい知人等との死別
- 12 家族間の重大なトラブル(家庭内別居・DV・虐待を含む)
- 13 心身の重大なトラブル(病気・怪我等)
- 14 仕事上(職場)の重大なトラブル
- 15 人間関係による重大なトラブル(いじめ・ハラスメント等を含む)
- 16 金銭による重大なトラブル
- 17 生活困窮・貧困
- 18 自然災害の被災・犯罪の被害等
- 19 その他の出来事(具体的に)

→問 25 へ

20 いずれもない

→問 26 へ



問 25 問 24 で「1」～「19」のいずれかに○を付けた（経験した出来事がある）方におたずねします。

**現在の孤独感（問 23 で回答した状況）に強く影響を与えたと思われる出来事はどれですか。
（○はいくつでも）**

- 1 一人暮らし
- 2 転居
- 3 転校・転職・離職・退職（失業を除く）
- 4 失業・休職・退学・休学（中退・不登校を含む）
- 5 妊娠・出産・子育て
- 6 介護・介助
- 7 こどもの独り立ち
- 8 家族の病気・障害
- 9 家族との離別
- 10 家族との死別
- 11 家族以外の親しい知人等との死別
- 12 家族間の重大なトラブル（家庭内別居・DV・虐待を含む）
- 13 心身の重大なトラブル（病気・怪我等）
- 14 仕事上（職場）の重大なトラブル
- 15 人間関係による重大なトラブル（いじめ・ハラスメント等を含む）
- 16 金銭による重大なトラブル
- 17 生活困窮・貧困
- 18 自然災害の被災・犯罪の被害等
- 19 その他の出来事
- 20 特に影響を与えたと思われる出来事はない



問 26 あなたは普段どのくらい外出しますか。(○は1つ)

- 1 仕事や学校で平日は毎日外出する
- 2 仕事や学校で週に3～4日外出する
- 3 遊び等で頻繁に外出する
- 4 人づきあいのためにときどき外出する
- 5 自宅で仕事をしていて、用があるときだけ外出する
- 6 ふだんは家にいるが、趣味に関する用事の際は外出する
- 7 ふだんは家にいるが、近所のコンビニなどにはでかける
- 8 自室からは出るが、家からはでない
- 9 自室からはほとんど出ない

→問 28 へ

→問 27 へ

問 27 問 26 で「6」～「9」と答えた方におたずねします。

あなたの外出状況が現在の状態となって、どのくらい経ちますか。(○は1つ)

- 1 6ヶ月未満
- 2 6ヶ月～1年
- 3 1年～3年
- 4 3年～5年
- 5 5年以上

5 困ったときの相談先や福祉情報の入手先について

問 28 あなたや家族が日常生活で困った時に頼れる人や機関はありますか。(○はいくつでも)

- 1 家族や親戚(同居、別居を問わない)
- 2 友人・知人
- 3 近所の人、自治会、町内会
- 4 民生委員・児童委員
- 5 かかりつけ医
- 6 ケアマネジャー(介護支援専門員)やヘルパー(訪問介護員)
- 7 地域福祉コーディネーター
- 8 仕事・学校関係の人(職場の同僚、保育所・幼稚園・学校の先生やカウンセラー)
- 9 相談支援専門員(障害者の相談を受け、サービスの調整をする専門員)
- 10 長寿サポートセンター
- 11 区役所の窓口
- 12 社会福祉協議会
- 13 その他(具体的に)
- 14 相談できる人や機関はない

問 29 現在、あなたや家族は、どこに相談すればいいかわからない生活上の困りごとを抱えていますか。(○は1つ)

1 ある ☐ → 問 30 へ

2 ない ☐ → 問 31 へ

問 30 問 29 で「1 ある」と答えた方におたずねします。

お困りの内容は何か。(○はいくつでも)

- 1 家族・親族間の人間関係(虐待、ひきこもりなどを含む)
- 2 子育て、看病、介護などの問題
- 3 依存症の問題(薬物、アルコール、タバコなどを含む)
- 4 収入、就労の問題
- 5 学校、勤務先での人間関係
- 6 事業や家業の経営上の問題
- 7 金銭トラブル
- 8 近隣、地域との関係
- 9 事故、事件などの被害
- 10 その他(具体的に)



問 31 区役所等の相談窓口について要望はありますか。(○は3つまで)

- 1 1 か所で色々な相談ができる
- 2 専門性の高い相談ができる
- 3 予約なしで相談ができる
- 4 夜間でも相談ができる
- 5 土日でも相談ができる
- 6 相談に要する時間に制限がない
- 7 身近に相談場所がほしい
- 8 プライバシーが守られる
- 9 相談の際、こどもや要介護者の面倒をみってくれる
- 10 区役所に行かずに相談ができる(オンラインでの相談やA I (人工知能)の活用など)
- 11 その他(具体的に)
- 12 特に要望はない
- 13 わからない

問 32 今後、区の福祉に関する情報を主に何(誰)から入手したいですか。(○は3つまで)

- 1 区の広報紙(朗読、点字を含む)
- 2 区のホームページ
- 3 区の窓口
- 4 区の掲示物・配付物
- 5 区が行う出前講座
- 6 民生委員・児童委員
- 7 社会福祉協議会
- 8 町会・自治会の回覧板
- 9 新聞・テレビ・CATV・ラジオ
- 10 区からのメールやSNS(プッシュ通知※を含む)
- 11 家族・親戚
- 12 友人・知人
- 13 保育園・幼稚園・学校・施設
- 14 その他(具体的に)

※プッシュ通知とは、事前に登録したスマートフォン等に、随時、区からのお知らせが届くサービスです。

6 区の地域福祉について

問 33 区の地域福祉を進める上での意見・提案をお聴かせください。（自由記入）

ア 区民同士や地域活動による支え合いに関する意見・提案

イ 区の福祉に関する意見・提案

ご協力ありがとうございました。

回答済み調査票は同封の返信用封筒（切手は不要）に入れて、10月18日（金曜日）までにポストに投函してください。

調査結果は区ホームページで公表します（令和7年4月予定）